

神奈川県社保協ニュース

神奈川県社会保障推進協議会 【NO. 26-2】 2026年7月31日発行
横浜市中区桜木町3-9 平和と労働会館6F TEL045-201-3900・FAX045-212-5745

新介護署名を大きく広げよう!!

介護保険制度開始から26年が経過しました。この秋から、下記の項目による介護保険制度の抜本改善を求める新介護署名に取り組みます。

低く据え置かれた介護報酬のもとで、2025年の介護事業所の倒産・休業案件数は過去最多を更新しました。介護現場の人手不足は深刻化する一方で肝心の処遇改善は進まず、全産業平均とは月8万円以上の賃金格差があります。こうした中で、利用料の引き上げ、有料老人ホーム入居者のケアプランの有料化が実施されようとしています。

介護保険の保険者である市町村では、来年4月から3か年の「第10期介護保険事業計画」が始まり、新たな介護保険料が決まります。この秋、保険料の引き下げ・据え置きなどを求めて市町村との懇談・交渉をすすめます。

すべての人が安心して介護を受け、介護従事者も尊重される制度の実現には、国の財政支援の強化が必要です。憲法25条にもとづいたケアが大切にされる社会の実現に向けて、新介護署名を大きく広げましょう。

神奈川で集める署名は、2万筆を目標とし、来年の通常国会までの期間で集めます。

STOP! 介護崩壊

介護保険 — 必要な時に必要な介護を受けられない。必要な介護を提供できない — 保険料を払っているのに…これではまるで「国家的保険詐欺」!!

「保険あって介護なし」 利用制限の強化

介護保険開始26年、「給付削減」「負担引き上げ」の見直しが続かれ、今や利用できない・利用できない介護保険に。

2005年 施設等の一部で、食事代の全部自己負担化
2015年 利用料2割負担の導入
2018年 施設ホームの入所対象を原則介護3以上に限定、要介護者の訪問介護・通所介護を保険給付から除外
2019年 利用料3割負担の導入……等々

介護現場の人手不足は深刻

このままでは事業所も、介護保険制度も維持できない

募集される介護職員の不足数

2025年	2026年	2040年
25万人		57万人

2025年からの増減は、2026年25万人、40年56万人の介護職員が不足。

事業所の倒産・休業案件数は過去最多の829件 (2025年)

訪問介護の危機は介護崩壊のはじまり

訪問介護の危機は介護崩壊のはじまり

訪問介護の危機は介護崩壊のはじまり

介護現場の人手不足は深刻

このままでは事業所も、介護保険制度も維持できない

募集される介護職員の不足数

2025年	2026年	2040年
25万人		57万人

2025年からの増減は、2026年25万人、40年56万人の介護職員が不足。

介護現場の人手不足は深刻

このままでは事業所も、介護保険制度も維持できない

募集される介護職員の不足数

2025年	2026年	2040年
25万人		57万人

2025年からの増減は、2026年25万人、40年56万人の介護職員が不足。

介護現場の人手不足は深刻

このままでは事業所も、介護保険制度も維持できない

募集される介護職員の不足数

2025年	2026年	2040年
25万人		57万人

2025年からの増減は、2026年25万人、40年56万人の介護職員が不足。

新・介護請願署名＝2026秋の年臨時国会・2027年通常国会に提出

介護保険制度・介護報酬の改善、介護従事者の処遇改善を求める請願署名
— 新たな利用困難をもたらす見直しを中止し、
介護する人、受ける人がともに大切にされる介護保険制度へ —

- 訪問介護の基本報酬をはじめ、介護報酬全体の大幅な底上げを行うこと。その際はサービスの利用に支障が生じないように、利用料負担の軽減などの対策を講じること
…【介護報酬の底上げ】
- 介護保険の利用に困難をもたらす利用料2割負担の対象拡大、有料老人ホーム入居者のケアプラン有料化などの見直しを行わないこと。人口減少地域の介護サービスの基準緩和、保険給付外しを行わないこと…【制度改悪の中止・撤回】
- 全額国庫負担により、すべての介護従事者の給与を全産業平均まで早急に引き上げること。介護従事者を大幅に増やし、一人夜勤の解消、人員配置基準の引き上げを行うこと
…【大幅な処遇改善】
- すべての地域において、必要なときに必要な介護が保障されるよう、介護保険料、利用料、居住費・食費などの費用負担の軽減、サービスの拡充による介護保険制度の抜本的な見直しを行うこと。介護保険財政に対する国庫負担の割合を大幅に引き上げること
…【制度の抜本改善＝国庫負担引き上げ】

9月議会に、OTC 類似薬の追加負担見送りの陳情を提出しよう！！

神奈川県、市町村の9月議会が開催されます。9月議会に向けて、「国に対し、OTC 類似薬の追加負担の実施を見送ることを求める意見書提出の請願（陳情）」の提出運動をすすめます。

県社保協の常幹・幹事選出の団体には、請願（陳情）書のひな形と神奈川県・全市町村の9月議会日程と請願・陳情の提出締め切り日の一覧を送っています。各組織で、県と各市町村議会への請願（陳情）提出をすすめてください。

右の陳情書は、8月19日に開催される神奈川県後期高齢者医療広域連合議会に提出する予定です。主な内容は以下のとおり。

5月29日、参議院本会議で「健康保険法等の一部を改正する法律案」が可決、成立しました。その中に、OTC 類似薬 77 成分 1100 品目の薬について、1割から3割負担の窓口負担とは別に「特別料金（薬剤の25%）」として追加負担を求める「一部保険外療養の創設」が入っています。

対象となる薬剤は、痛みや発熱など炎症をやわらげる消炎鎮痛剤や、蕁麻疹、花粉症、喘息など症状を緩和する抗アレルギー薬、皮膚疾患の保湿剤など、日常的に幅広い疾患で使われている薬です。保険外となれば消費税がかかることから、医療保険が3割負担の人は実質5割、2割の人は4割、1割の人は3割負担と大幅な自己負担増になります。政府は「（受診せず）市販薬を利用している患者との公平性」を理由にあげていますが、受診が必要な患者に追加料金のペナルティーを科す道理はありません。花粉症やアトピー性皮膚炎などアレルギー性疾患に苦しむ患者などの新たな負担は大きいものがあります。「現役世代の保険料負担の軽減」を打ち出していますが、国会での厚生労働大臣の答弁で明らかになった1人当たりの「軽減額」は、年額400円（月33円）に過ぎません。しかも、今後、対象医薬品の拡大と特別料金の引き上げを検討するとしています。

このようなOTC 類似薬の「追加負担導入」は、自己負担を3割までとした健康保険法の趣旨に反します。患者の受療権や健康権の侵害につながり、受診控えや受診遅れなど、いのちに直結する問題となります。来年3月から実施するとしていますが、見送ることを強く求めます。

国の責任で、憲法 25 条にもとづく社会保障充実を！！

7月5日～6日、中央社保協第70回全国総会が兵庫県姫路市で開催されました。会場・WEBを含め16中央団体39都道府県から113名、神奈川からは3名参加しました。高市自維政権がすすめる「戦争する国づくりと社会保障大改悪」を許さず「人権としての社会保障」実現に向けて、国政や地方政治の転換を求める2026年度活動方針を確立しました。

安達代表委員は開会あいさつで、高市自維政権による大軍拡と社会保障削減路線や、大阪「副首都」構想を阻止し、9条改憲を許さない運動を広げ、各地のたたかひの経験を学び、これまでの社会保障を削り続ける政治を転換し、誰もが安全で安心して暮らせる社会を実現していこうと訴えました。佛教大学の岡崎祐司教授が「地域医療のゆくえと社保協への期待・社会保障の再生」をテーマに記念講演を行いました。

討論では28団体から活動報告や要望が出され、活動方針を豊かに補強するものとなりました。神奈川からは、藤井事務局次長が「国保問題を中心にした自治体対要請・懇談のとりくみ」について発言しました。いずれの議案も総会参加者の拍手で承認されました。＜中央社保協ニュースより転載＞

国に対し、OTC 類似薬の追加負担の実施を見送ることを求める意見書提出の陳情

＜請願（陳情）の趣旨＞

5月29日、参議院本会議で「健康保険法等の一部を改正する法律案」が可決、成立しました。「健康保険法等の一部を改正する法律案」は28本もの法律を束ねたもので、その中に、OTC 類似薬 77 成分 1100 品目の薬について、1割から3割負担の窓口負担とは別に「特別料金（薬剤の25%）」として追加負担を求める「一部保険外療養の創設」が入っています。

対象となる薬剤は、痛みや発熱など炎症をやわらげる消炎鎮痛剤や、蕁麻疹、花粉症、喘息など症状を緩和する抗アレルギー薬、皮膚疾患の保湿剤など、日常的に幅広い疾患で使われている薬です。保険外となれば消費税がかかることから、医療保険が3割負担の人は実質5割、2割の人は4割、1割の人は3割負担と大幅な自己負担増になります。

政府は「（受診せず）市販薬を利用している患者との公平性」を理由にあげていますが、受診が必要な患者に追加料金のペナルティーを科す道理はありません。花粉症やアトピー性皮膚炎などアレルギー性疾患に苦しむ患者などの新たな負担は大きいものがあります。「現役世代の保険料負担の軽減」を打ち出していますが、国会での厚生労働大臣の答弁で明らかになった1人当たりの「軽減額」は、年額400円（月33円）に過ぎません。

2025年12月の財務・厚生大臣折衝の合意では、将来的に「OTC 医薬品の対応する症状の適応がある処方箋医薬品以外の医療用医薬品の相当部分にまで対象範囲を拡大することを目指す」、「特別の料金の対象となる薬剤費の割合の引き上げについても検討する」とされ、将来的な対象医薬品の拡大と特別料金の引き上げを検討するとしています。

このようなOTC 類似薬の「追加負担導入」は、自己負担を3割までとした健康保険法の趣旨に反します。患者の受療権や健康権の侵害につながり、受診控えや受診遅れなど、いのちに直結する問題となります。来年3月から実施するとしていますが、見送ることを強く求めます。

つきましては、後期高齢者の命と健康、生活を守るために、広域連合議会において、以下の内容で国に対して意見書を提出することを陳情します。

記

国に対し、OTC 類似薬の追加負担の来年3月からの実施を見送ることを求める意見書を提出すること。

2026年8月7日

住 所 横浜市中区桜木町 3-9
団 体 名 神奈川県社会保障推進協議会
事務局長 根本 隆
電 話 045-201-3900

神奈川県後期高齢者医療広域連合議会議長 殿



学習しながら運動を強化する！！

相模原市社保協総会

相模原社保協は7月5日、22名の参加で総会を開きました。根本県社保協事務局長は記念講演で、神奈川の1年間の社会保障運動の前進を指摘し、運動に確信を持とうと訴え、「一部保険外負担制度」の問題点と今後の社会保障制度改悪の動きを指摘しました。

総会では提案した年間の活動まとめ、今後の重点課題、決算、予算を承認しました。提案を受けて、各参加者から「医療に格差があってはならない」（保険医協会）、「補聴器助成と交通権」（年金者）「長期不況の中で、国保料減免」（民商）「相模原市政の近況」（市議）など次々と発言がありました。＜相模原市社保協・中屋重勝事務局長より＞



酷暑の中で重税に怒り「生活が大変」！！

7.24 各界連・宣伝行動

7月24日、伊勢佐木町で定例の宣伝行動を行いました。5団体から14人が参加し、30分の短時間でしが酷暑の中で対話をしながら署名を訴えました。この間の高市内閣の乱暴な国会運営に市民の怒りが高まっていると実感しました。参加者は水分補給をしながら対話を広げ、ティッシュとチラシを250セット配布でき、署名も13人分寄せられました。

日本に長く暮らしているというオランダ人の男性は、母国の税率は25%と高いが使い道になってく出来ると語りました。道路整備やごみ回収など、生活全面に使われているので納得できるが、日本の消費税は納得できないと語っていました。年金暮らしの女性は、税率1%を2年限定というが、システム変更は業者がやらなければならないなんておかしいし、年金暮らしは生活が大変だと怒りを露わにしました。＜消費税廃止各界連・運動推進ニュースより転載＞



逆進的で不公平な消費税を、対話で明らかにしよう!!

消費税廃止神奈川県各界連絡会は7月21日、定期総会に当たる代表者会議を開催しました。構成団体から9人が参加し、2月の総選挙以降の消費税をめぐる情勢について確認しながら、秋以降の食料品の消費税減税と給付付税額控除の諸問題を明らかにする全県的な運動の方向性について討議を行いました。

毎月の定例宣伝を中心とした県議会对策や各種団体への働きかけ、学習会の開催、3・13重税反対全国統一行動の成功のための取り組みなど、各界連の運動について振り返りながら、対話の大切さや宣伝上の工夫などについて討議を深めました。

「社会保障と税の一体改革反対全県一斉宣伝」の持ち方についても検討を行いました。2012年の野田内閣時に始まった全県一斉宣伝の意義について掘みなおし、県独自の取り組みを発展させることと消費税減税の運動を強化するために、年4回の取り組みを各界連の一連の行動として位置付けること、また地域での各界連運動を再構築するための方向性などについて討議を深めました。

今後、①全県一斉宣伝行動は各界連の取り組みとすること、②消費税減税・インボイス廃止をはじめ、医療・社会保障改悪を許さない運動を一層推進するため、年4回の宣伝を実施し、その中で地域の各界連運動を強化していくことを確認しました。

高市内閣は、8月初旬に食料品消費税1%・給付付税額控除を打ち出し、秋の臨時国会で審議を始めようとしていることから、消費税の持つ逆進性や不公平について国民的理解を広めるため、今後いっそう署名・対話を強めることが確認されました。＜消費税廃止各界連・運動推進ニュースより転載＞

消費税廃止各界連代表者会議



2026.9.5～6 中央社会保障学校 From 盛岡

9月5日(土) 13:00～6日(日) 15:30で、中央社会保障学校 from 盛岡が開催されます。神奈川からは、現地参加とオンライン参加をすすめます。

今回の中央社保学校は、岩手県盛岡市を拠点に開催します。生命尊重行政のもと、老人医療無料化発祥の地となった今日沢内村(現・西和賀町)の取り組みや、北海道・東北地域の社会保障改善運動の実践を通じて「人権と社会保障」を深く学ぶ機会とします。

＜参加申込締め切り日は8月17日です＞

県社保協として、オンラインの集団視聴できるよう「横浜平和と労働会館」3F 会議室をサテライト会場としました。

県社保協のホームページに案内・申込書があります。<https://kanagawa-shahokyou.jp>

多くの方の参加をお待ちしています。

(参加費は3000円ですが、県社保協で1500円支援します)

人権といのち輝く社会保障の未来を描こう
～分断と孤立、世代間対立を乗り越えて～

第53回 **中央社会保障学校 from 盛岡**

2026年 **9/5(土)～6(日)**

会場 **キオクシア アイーナ 8階**
(いわて県民情報交流センター 岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目7番1号)

オンライン併用開催

1日目 13:00(12:30受付開始)～16:30

13:00 開校/オープニング企画
主催者挨拶(現地実行委員長 岩手社保協会長)

13:20 (学習講演)
**人権といのち輝く
社会保障の未来**
芝田 英昭氏
大東文化大学社会学部社会政策学教授 城西大学総合政策学部社会政策学教授
(元正数大学教授 元立正大学教授 社会福祉研究家・社会政策家)

15:00 (シンポジウム)
東日本大震災から15年 **震災と社会保障を考える**
(岩手・福島・宮城からの報告)

16:30 休校

2日目 10:00(9:30受付開始)～15:30

10:00 **社会保障入門講座** 岩倉 政城氏
岩倉政城氏
岩倉政城氏
岩倉政城氏

12:45 4つの分科会(趣意参加)

15:30 閉校挨拶(中央社保学校 安達克郎校長)

【主催】第53回中央社保学校現地実行委員会(北海道・東北ブロック)・中央社会保障推進協議会
☎03-5808-5344 Fax.03-5808-5345 E-mail: sankashahokyo25@shahokyo.jp ホームページ: <https://shahokyo.jp>

今回の中央社保学校は岩手盛岡を拠点に、あらためて生命尊重行政のもと、老人医療無料化発祥の地となった旧沢内村(現・西和賀町)の取り組みや、北海道・東北地域の社会保障改善運動の実践を通じて「人権としての社会保障」を深く学ぶ機会とします。

お申し込み ①中央社保学校 ②フィールドワーク

●お申し込み期日/8月17日(月)
●入金期日/8月21日(金)
※お申し込み時に登録されたメールアドレスに受付完了メールが自動配信されます

●参加費/1人 3,000円(資料代・送料込み)
※1日参加・2日参加問わず 現地参加・オンライン参加問わず
●資料/資料集は参加者には事前に郵送します
●希望者に2日目の昼食弁当の注文をとります
(お茶代1,000円・現地支給)

●宿泊おせん/9/5(土)6(日)の宿泊希望の方に宿泊おせんを行います
※宿泊希望者は「各登録地」へ申し込みください(詳しくは別途HPをご覧ください)

ゆうちょ銀行振替口座 00180-3-155551
ゆうちょ銀行 当座 店名〇一九 口座番号 0155551
加入者名:中央社会保障推進協議会
※「中央社保学校参加費」と明記し、参加者名と受付番号を必ずご記入ください。振り込み手数料は各自でご負担ください

オプション 参加費/1人 4,000円
9月7日(月)フィールドワーク(裏面参照)
①生命尊重行政の街・旧沢内村を巡る
②東日本大震災・陸前高田を巡る

＜8月～9月初旬までの主な行動・会議日程＞

- 8月4日(火) 後期高齢者医療広域連合議会対策懇談会 10:00 神奈川県委員会
原水爆禁止 2026 年世界大会 14:00 広島グリーンアリーナ (6日 13:00 まで)
- 8月5日(水) 中央社保協運営委員会・介護障害部会 10:30 医療労働会館+ (ZOOM)
消費税ネット世話人&事務局会議 18:30 保険医協会会議室+ (ZOOM)
- 8月7日(金) 県社保協第2回常幹・幹事会合同会議 14:00 保険医協会+ (ZOOM)
- 8月8日(土) 原水爆禁止 2025 年世界大会 14:00 長崎大学中部講堂他 (9日 13:00 まで)
- 8月15日(土) 平和憲法を守りいかそう野外のつどい 15:30 桜木町駅前
- 8月17日(月) 高齢期のつどい in かわさき実行委員会 14:00 川崎ゆめホール会議室
消費税廃止各界連運営委員会 15:00 神商連会館会議室+ (ZOOM)
- 8月19日(水) 後期高齢者医療神奈川県広域連合議会 14:30 かながわ労働プラザ
- 8月20日(木) 介護のつどい実行委員会 14:00 民医連会議室
- 8月21日(金) 沖縄知事選告示 (9月13日投票日)
2026 原爆と人間展 10:00 新都市プラザ (23日 18:00 まで)
- 8月24日(月) 生存権裁判を支える会幹事会 10:00 平和と労働会館 7F 会議室
消費税廃止各界連宣伝行動 15:00 伊勢佐木町有隣堂前
- 8月25日(火) 高齢期運動連絡会事務局会議 10:00 年金者組合会議室
横須賀社保協活動再開相談会 14:00 みなみ医療生協衣笠診療所会議室
県民要求連絡会事務局会議 15:00 県職労連会議室+ (ZOOM)
- 8月26日(火) 国民大運動実行委員会世話人団体会議 9:00 平和と労働会館 4F 会議室+ (ZOOM)
平塚地域社保協幹事会 18:30 医療生協かながわ平塚診療所会議室
- 8月29日(土) 神奈川革新懇学習会 13:30 かながわ労働プラザホール
- 9月1日(火) 県社保協医療保険改善委員会 10:00 神商連 4F 会議室+ (ZOOM)
- 9月2日(水) 中央社保協運営委員会&介護障害部会 10:30 日本医療労働会館+ (ZOOM)
- 9月4日(金) 県社保協第3回常幹 14:00 建設プラザ 3F 会議室+ (ZOOM)
- 9月5日(火) 中央社会保障学校 from 盛岡 13:00 キオクシア アイーナ 8F+ (ZOOM) 6日 15:30 まで